

■日 時 平成27年9月1日(火) 19:00～21:10

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■質疑概要

1. 平成27年度第1回モニタリング調査結果について

◇水質の観測データの誤差はどの程度あるのか。

→次回お示しします。と回答しました。

◇台風のような大きな降雨があると浸透水が多くなり、流れ出すことはないのか。

→浸透水は場内地下に設置する貯留層で一時貯留することになっているが、その容量は、過去15年間のデータの計算結果に基づき、急激な雨でも浸透水があふれないように対応できる設計にしている。と回答しました。

◇15年間のデータに平成25年の台風18号のデータは入っているか。入れたらどうなるか。

→18号のデータは入っていない。次回結果をお示しする。と回答しました。

◇騒音についてはどうか。

→騒音が一番近い団地からは苦情を聞いていないが、別の団地の住民の方から、苦情を1件聞いている。騒音の大きさは基準値と比較して問題はないものの、現地では重機の操作音を確認したので点検・整備等の対応を行った。データは次回お示しする。と回答しました。

2. 二次対策工事の進捗について

◇今回明らかになった許可に反した埋立ては、違法ではないのか。RD社に対する対応はどのようにするのか。また、それを見すごした県の責任について総括が必要ではないか。

→今日のご指摘は受け止めさせていただきます、と回答しました。

◇鉛含有廃棄物土については、二次対策工事で掘削することを想定していなかった。この原則とは異なるやり方で処理する部分があるのであれば、住民と改めて協議する必要があるのではないか。また、保管方法等について、専門家の意見を聞いてほしい。

→有害物には該当しないため、場外搬出の対象とはならないものの、その取扱いについては、過去の経緯を尊重して原状に戻すことで対応することとして、7月の現場説明会でも説明させていただいたところであるが、ご意見を踏まえて再検討する、と回答しました。